

令和8年度 在職者訓練(1級・2級建築配管技能士)案内

宮崎県立産業技術専門校

1 講座名

1級・2級建築配管技能士試験(技能検定)の技能講座【実技のみ】

内容は、1級又は2級の建築配管技能士試験(技能検定)の実技課題の訓練です。
学科試験と実技(計画立案)試験については、この講座では実施しません。

(この技能講座は、1級・2級の建築配管技能士試験の申込みではありません。)

2 受講者

上記の資格取得を目指す在職者、離転職者等を対象に開講します。

1級又は2級の建築配管技能士試験の受検資格がある方が対象です。

受検資格については、下表を参照してください。

3 受講生の準備するもの

受講料は無料ですが、使用工具等は一式各自で準備してください。

別紙の使用工具等一覧を参照して準備してください。

4 受講申込みについて

本校ホームページ上に「受講申請書」を掲示しますので、受講希望者は、受講資格を確認して、
受講申請書を郵送又はFAXしてください。

応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は電話で連絡します。

5 講座の中止、内容変更等について

自然災害や気象条件等によって、中止や延期の措置をとる場合があります。

講師、主催者の都合により、やむを得ず日程変更・中止をする場合がありますので、御了承ください。

訓練中の事故等(車両事故等含む)につきましては、主催者は一切の責任を負いません。

6 講座の日時・場所・受講資格等

講座名	1級・2級建築配管技能士試験(技能検定)の技能講座
募集詳細 ホームページ掲示時期(予定)	令和8年 5月中旬以降
募集期間(予定) ※最終日受付:午後5時まで	令和8年6月1日(月) から 6月26日(金) まで
受講者決定日(予定)	令和8年6月30日(火)
日時予定	令和8年8月3日(月)から8月6日(木)まで 午前9時から午後4時まで (1日6時間)の4日間
会場	県立産業技術専門校 建築設備科実習棟
定員	1級 5名程度、2級 5名程度(合計10名程度)

1級・2級建築配管技能士試験の受講資格					
1級受講資格	※1級技能講座は、1級建築配管技能士検定の受検資格がある方を対象にしています。①から⑩のいずれかに該当する方が、受講資格があります。		1級 (実務経験年数)		
			1級	2級合格後	
	①実務経験のみ		7	2	
	②専門高校卒業者(機械科、造船科、建築科に限る)		6		
	③短大・高専・高校専攻科卒業者(機械科、造船科、建築科に限る)		5		
	④大学卒業者(機械科、造船科、建築科に限る)		4		
	⑤専修学校又は各種学校卒業者 (厚生労働大臣が指定したものに限る)		800h以上		6
			1600h以上		5
			3200h以上		4
	⑥短期課程の普通職業訓練修了者		700h以上		6
	⑦普通課程の普通職業訓練修了者		2800h未満		5
			2800h以上		4
	⑧専門課程、特定専門課程、応用課程、特定応用課程の高度職業訓練修了者		※1参照		
⑨長期課程、短期養成課程の指導員養成訓練修了者		※1参照			
⑩職業訓練指導員免許取得者		1			
※1:⑧⑨は、宮崎県職業能力開発協会の「技能検定受検案内」を参照					
2級受講資格	※2級技能講座は、2級建築配管技能士検定の受検資格がある方を対象にしています。 ①から⑨のいずれかに該当する方が、受講資格があります。 ①実務経験のみで受検する場合は、実務経験2年が必要 ②専門高校卒業者(機械科、造船科、建築科) ③大学・短大・高専卒業者(機械科、造船科、建築科) ④専修学校又は各種学校卒業者 ⑤短期課程の普通職業訓練修了者(700時間以上) ⑥普通課程の普通職業訓練修了者(2800時間未満又は2800時間以上) ⑦専門課程又は応用課程の高度職業訓練修了者 ⑧長期課程の指導員訓練修了者 ⑨職業訓練指導員免許取得者 ②から⑨は実務経験なし				

7 問い合わせ先

〒881-0003

西都市大字右松362-1

県立産業技術専門校 建築設備科 岩永、安藤

TEL 0983-42-6501

FAX 0983-42-6511

在職者訓練(1・2級建築配管技能士)使用工具等一覧

改訂 令和7年8月

	品名	寸法又は規格	数量	備考
1	パイプ万力(バイス台)三脚型又は四脚型	SGP20～15Aに使用可能なもの	1	※1
2	金切りのこ(弓のこ)	鋼用(24山程度)	1	替え刃も準備
3	パイプカッタ		適宜	鋼管用、銅管用、塩ビ管用 ※2
4	ビニル管用のこ		1	
5	銅管カッター		1	
6	手動パイプねじ切り器	オスタ型又はリード型又は刃一体型(カセット型)	1	※3
7	パイプリーマ	鋼管・塩ビ管・銅管用	各1	
8	パイプレンチ(250mm～350mm)		適宜	300mm・350mmがあると良い
9	モンキスパナ(250mm～350mm)		適宜	300mm・350mmがあると良い
10	プライヤ		適宜	2丁があると良い
11	ハンマ	金づち及び木づち	適宜	
12	やすり	平・半丸型	適宜	
13	サンドペーパー	鋼管研磨用	適宜	鋼管ブラシ可
14	ワイヤーブラシ		適宜	
15	トーチランプ	ガス用(逆止め弁付)	1	カートリッジ(ボンベ)を持参のこと。ガソリン型は禁止
16	カッターナイフ		1	
17	ウエス		5枚	鋼管用、銅管用、塩ビ管用
18	油さし	水道管用ねじ切り切削油入り	1	
19	はんだ	銅管接合用	適宜	
20	フラックス	銅管用	1	
21	シールテープ	鋼管、銅管、塩ビ管用	5個	
22	塩ビ管用接着剤	(公)日本水道協会規格JWWAS101適合品	適宜	※4
23	巻き尺(スケール)		1	
24	差し金		1	
25	バケツ		1	ねじ部洗浄、はんだ接合冷却用
26	鉛筆又は油性ペン		各1	
27	作業服		一式	
28	保護帽又は作業帽		1	作業に適したもの。※5

- ※1 バイス台の高さは800mm程度が使用しやすい。高さ570mm程度の小型は、鋼管ねじ切りが難しいので不向きです。
- ※2 パイプカッタとは、回転させた刃をパイプに押し当てて押切る構造の工具です。
- ※3 鋼管ねじ切り器は、正常なねじが切れるか必ず各自で確認して下さい。使用している刃が、古いものや刃が欠けているものは、切ったねじが不良ねじになり水漏れして本試験では不合格になります。不良ねじの場合は、替え刃のみを購入するか、ねじ切り器本体の購入を検討して下さい。本体を購入する場合は、刃の調整が不要の「カセット型」を推奨します。
- ※4 検定時には、VP又はHIVPで施工することがあるため、速乾性のVP・HIVP兼用接着剤(500g)を準備して下さい。色つきは不可。
- ※5 タオル巻きやニット帽等の着用は、作業に適したものと見なされません。

注1: はんだ、フラックス、シールテープ、接着材の消耗品は、必ず持参してください。

注2: レンガと鋼管切削くず・油受け(トレイ等)は、専門校が準備します。但し、実際の試験会場はレンガは準備していますが、切削くず受けは準備していません。

使用工具の事でわからない場合は、専門校の問い合わせ先へ連絡してください。

技能講座受講申請書

県立産業技術専門校長 殿

令和 年 月 日

私は、県立産業技術専門校が実施する次の講座を受講したいので申し込みます。

講 座 名
1・2級建築配管技能士試験（技能検定）の技能講座

受 講 対 象
(1 級 ・ 2 級) 建築配管 (○印を記入して下さい)

1 級 ・ 2 級 受 講 資 格	
受講資格	別紙の案内の受講資格欄の1級①～⑩又は2級①～⑨の番号を()に記入して、[]にその受講資格を記入して下さい。 1 級 () [] 2 級 () []

フリガナ 氏名(受講者)	
年 齢	() 歳
受講者連絡先	携帯電話番号 (— —)
勤務先名、従業員	従業員数()名
勤務先住所	〒 会社電話番号： — — FAX 番号： — —

※受講決定後のキャンセルは、ご遠慮願います。

【郵送する場合】

〒881-0003

宮崎県西都市大字右松362-1 県立産業技術専門校 建築設備科宛

【FAXする場合】

この用紙を「0983-42-6511」にFAXしてください。

(※FAX送信後は、各自で本校への受信確認をお願いします。)